

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立浜名特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜名特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	117人

1. 使用状況

寄贈物品名	防災ソフトつみき
使用学年及び人数	中学部自立グループ 2人
使用頻度	週3回から4回程度
使用状況	膝立ちの学習をする時に使用している。机や木の台と違って安定しているため、安全に膝立ちができる。ソフトな素材なので手や腹が当たっても痛くない一方、適度な硬さがあるためしっかりと手を付き、身体を保持することができる。
物品の使用による変化や効果	今まで使用していた木製のものと比較すると重量が軽いため、持ち運びが容易にでき、教室の様々な場面で使用できる。そのため、生徒の活動場所を選ばずに使用することができる。また、素材はしっかりとしているが肌触りはよく、冬でも冷たさを感じない。そして、木製のものよりも安全面が一番安心して使用できる要因である。
今後の活用の見通しや課題	日々の学習活動に常用するとともに、大きさの異なるものを追加購入し、組み合わせのバリエーションを広げ、同時に学習活動も広げていきたいと考えている。
その他希望や所感など	今後の見通しで述べたが、活動の幅を広げるために大きさの異なるものを追加購入したい。

2. 活用の様子

